

2018年度 1 学年 歴史 1 学期中間試験 模範解答

I	3点	(1) エ (2) オ (3) オ		(4)奈良漬け→たくあん→福神漬け (完答)			
II	各2点 計24点	A 西暦(西暦年)	B 元号		C 天皇	D 世紀	
E 1		F 20		G 古代	H 中世		
I 社会		J 平安		K 鎌倉	L 政治		
III	各2点 計40点	(1) 火を使う		言葉を使う		(順番はとわない)	
		(2) B		(3) D → B → A → C (完答)			
		(4) ① 二足歩行 (直立歩行)	② 道具	③ 猿人		④ 氷河	
		⑤ 氷期	⑥ 間氷期	⑦ 原人		⑧ 打製石器	
		⑨ 新人	⑩ 狩り(狩猟)	⑪ 旧石器時代		⑫ 木の実	
IV	5点	⑬ 矢		⑭ 磨製石器		⑮ 土器	⑯新石器時代
		C					
V	各3点 計9点	(1) 大麦 ゴマ ナツメヤシ				(3つあること。順番はとわない)	
		(2) 王 → アウィールム → ムシュケーヌム → 奴隷 (完答)					
		(3) ハンムラビ法典 (ハムラビ法典)					
VI	10点	※ 【 採点基準 】					
		次の各論点につき2点を加点する。採点は加点法をとり、誤字脱字は減点対象としない。ただし、論理矛盾については、－2点とする。複数の文章の記述内容が、相互に矛盾している場合は、1つの文章のみを加点する。					
		① 主な道具が石器しかなかった時代の祖先が、様々な工夫を重ね、自然環境の厳しさと闘い、生きのびたから自分の生命があるなど、私たちの生命や存在そのものが歴史的存在であることを筋道を立てて具体的に説明している。					
		② 石器を体験したことをふまえて、石器を製作することの難しさや利用する際の難しさなどについてふれて、石器時代の人々の暮らしが苦労と工夫の連続であったことを、筋道を立てて具体的に説明している。					
		③ グループ学習で学んだ際のテーマと友達の意見を紹介し、自分の意見との違いを明確にした上で、自分の意見を具体的な例をあげて根拠を示し、筋道を立てて説明している。					
		④ 文字のなかった石器時代の技術変化はゆっくりで、道具の改良に何万年もの長い時代がかかったことに対して、文字の発明により技術の高度化と文化の急速な変化がもたらされたことにふれて、今日の自分たちの社会や生活の豊かさが、文字や情報技術の歴史的な発展に支えられていることを、筋道を立てて具体的に説明している。					
		⑤ 今日の私たちが食べている穀物や野菜などは人類の数百万年の歴史の中で発見されたり、改良されてきたことにふれ、自分たちの暮らしが人類の過酷な歴史によって築かれてきたことを、筋道を立てて具体的に説明している。					
		⑥ ①～⑤以外のことであっても、人類の歴史(石器時代)について学んだことと、今日の社会や自分の暮らしの具体的な事実とを対比して、歴史的な関連性について筋道を立てて具体的に説明することができていれば、加点する。					
		⑦ 満点を10点とするので、5つを超える論点の記述があっても、10点を超えて加点しない。					

第 学年 組 番 氏名 満点 太郎

I	II	III	IV	V	VI	合 計
思考判断	知識理解	知識理解	思考判断	資料活用	関心・意欲・態度	
/12	/24	/40	/5	/9	/10	/100